

広島文教大学 科目のナンバリングについて

I. ナンバリングとは...

ナンバリングは、広島文教大学で開講されている全ての科目を 文字や番号、記号を組み合わせて表記することにより、

- ①本学及び各学部・学科が学生に修得してもらいたいと考える「力」のうち、その科目によって修得できる力はこういったものであるのかを理解することができます。なお、修得できる力は本学のディプロマ・ポリシーに対応しています。
- ②その科目が学びのプロセスにおいて、どのような水準にある科目なのか、あるいは、どの時期に履修するのか（学修の順序）を理解することができます。
- ③大学での学びを体系的に理解し、自らの学びの進行状況を確認しながら自立した学修者を目指す上で役立てることができます。

以上の点を踏まえ、シラバスに明記されたナンバリングを参照しながら履修登録し、学修の計画を立てるようにして下さい。

II. ナンバリング表記の仕組み

1. 科目が開講されている学部

本学では現在、全ての科目が二つの学部で開講されています。
教育学部は「E」、人間科学部は「H」という文字で示されます。

2. 科目が開講されている学科

本学では教育学部の中に一つ、人間科学部の中に四つの学科が設置されています。
それぞれ次の数字が各学科を示します。

3＝教育学部教育学科

4＝人間科学部人間福祉学科

5＝人間科学部心理学科

6＝人間科学部人間栄養学科

8＝人間科学部グローバルコミュニケーション学科

なお、教養教育部で開講されている科目は「0」で表記します。

3. 到達目標との対応

2017 年度より、建学の精神及び学園訓に基づき、「卒業認定・学位授与の方針」＝ディプロマ・ポリシーを改めて策定しました。そこでは以下の能力の修得及び育成が目指されています。

- (1) 状況を見極め適切に判断し、計画を具体的な行動に移す能力（実践力）
- (2) 自らを律し、社会でたくましく生き抜こうとする姿勢（自律性）
- (3) リテラシーに基づくコミュニケーション力
- (4) 専門的な知識・技能の活用力
- (5) 豊かな人間性（育心育人）

上記五つのディプロマ・ポリシーの詳細及び、教養教育部と各学部・学科がそれぞれにおける学びの特性を踏まえて定めたディプロマ・ポリシーについては、本学のホームページを御覧下さい。

それぞれの科目の受講及び単位の修得が、ディプロマ・ポリシーで修得及び育成が目指されているどの力に結びついているかによって、（ ）内に1～5の数字が記されます。なお、複数の力の修得及び育成に結びついている場合には、（ ）内に複数の数字が記されます。

4. 開講時期（学びの深まり）

各科目には開講時期が定められています。本学では1年次～4年次まで、それぞれ前期・後期に分けて授業が開講されていますので、授業の開講時期は下表のとおり4×2＝8つ存在しています。当然のことながら、開講時期が遅くなるほど、より高度な内容の授業となります。

1年次		2年次		3年次		4年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	2	3	4	5	6	7	8

以上の点を踏まえると、本学のナンバリングがどのように成り立っているかが分かります。

例えば、人間栄養学科の「公衆衛生学Ⅱ」という科目があります。この科目のナンバリングは「H6 (4) 3」となっています。これは、本科目が人間科学部（＝H）人間栄養学科（＝6）の、ディプロマ・ポリシーの(4)リテラシーに基づくコミュニケーション力の修得が目指されており、2年次前期に開講される（＝3）科目であることが示されています。

このように、科目のナンバリングと添付の表を突き合わせてみると、それぞれの科目がどのような内容を修得するためのものであるかが理解できます。

自分自身がこれまで修得してきた科目やこれから修得しようとする科目のナンバリングを確認することで、自らの学びに偏りがいないか、また、適切な段階を踏んで学びを進めているのかなどを理解することができます。このような取組が「自立した学修者」として成長する上で大きな力となります。是非ナンバリングを活用して下さい。